

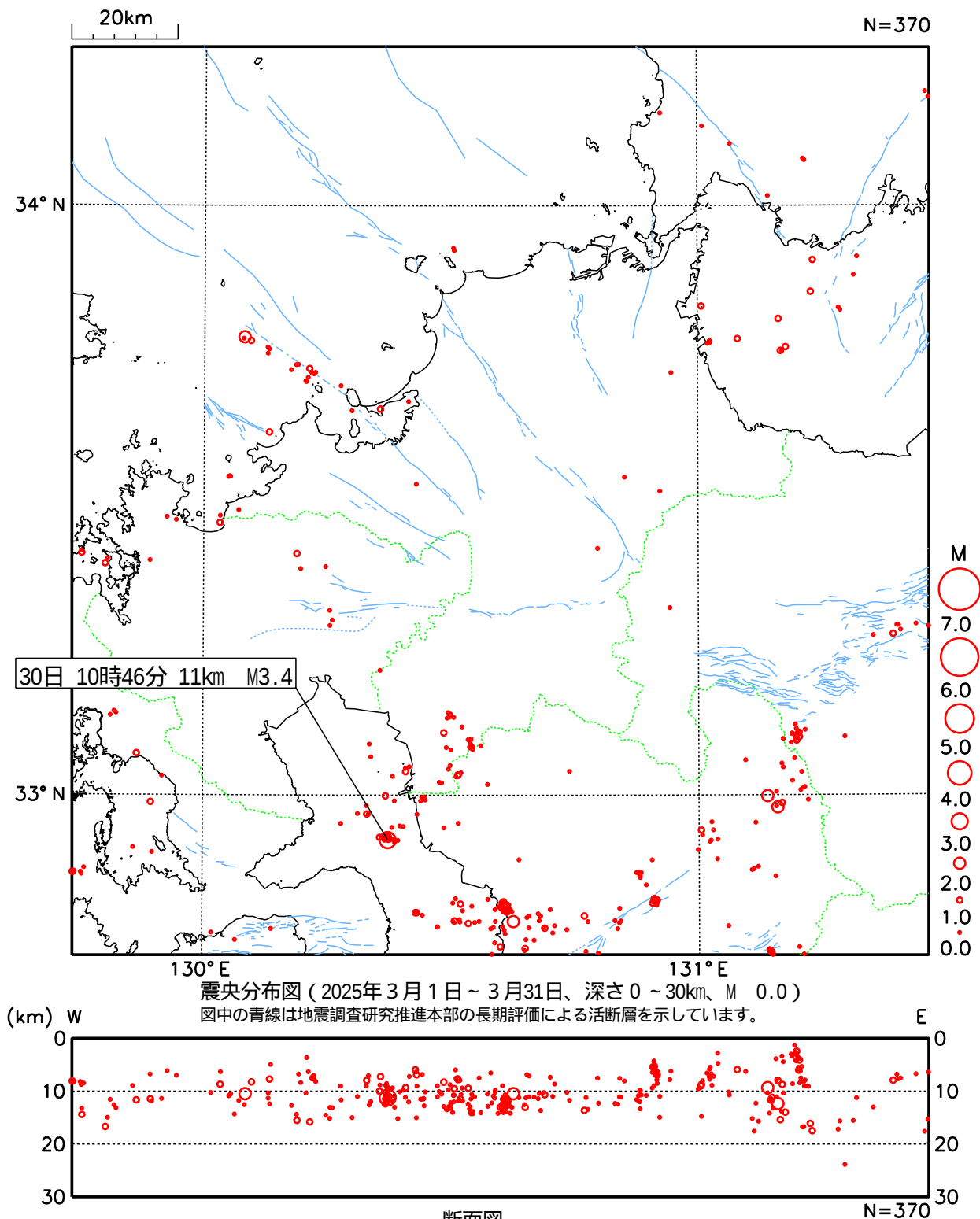
福岡県の地震活動概況（2025年3月）

令和 7年 4月 7日

福岡管区気象台

【概況】

3月に福岡県内で震度1以上を観測した地震は2回（うち1回は下図領域外）でした（2月は1回）。



震央分布図（2025年3月1日～3月31日、深さ0～30km、M 0.0）

図中の青線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

熊本県熊本地方の地震（情報発表に用いた震央地名は〔熊本県天草・芦北地方〕、 1 頁震央分布図領域外）

18 日 05 時 00 分に発生した M4.8 の地震（深さ 10km）により、熊本県の八代市、上天草市、芦北町で震度 4 を観測したほか、九州地方、四国地方の一部で震度 3～1 を観測しました。福岡県ではみやま市で震度 2 を観測しました（図 1）。

今回の地震の震源付近（図 2 領域 a）では、2024 年 5 月 31 日に M4.7 の地震（深さ 13 km、最大震度 4）が発生し、福岡県では柳川市、みやま市で震度 2 を観測しました（図 2、3）。

なお、領域 b では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」が発生しています（図 2、4）。

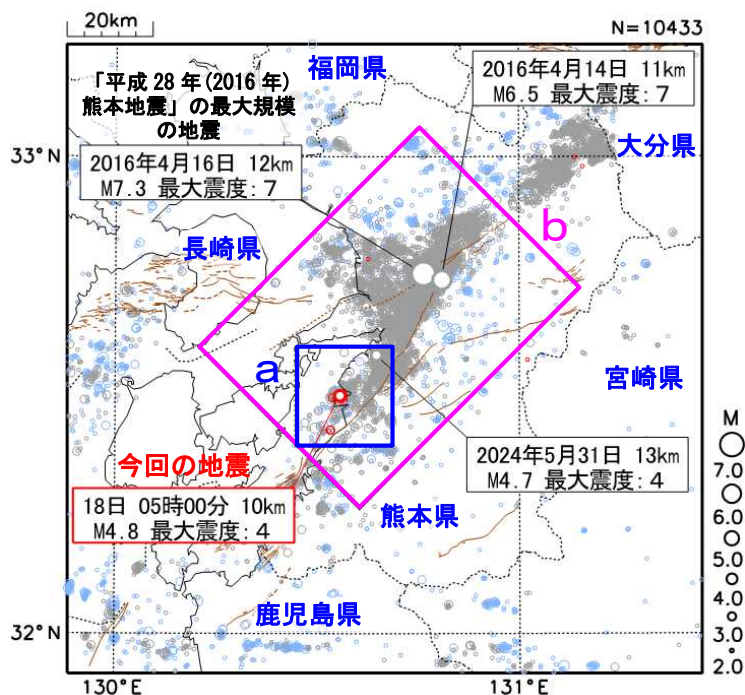


図 2 震央分布図
（2000 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日、
深さ 0～20km、M≥2.0）

2016 年 4 月 13 日以前に発生した地震を薄青色○、
2016 年 4 月 14 日以降に発生した地震を灰色○、
2025 年 3 月に発生した地震を赤色○で表示
※図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価
による活断層を示す

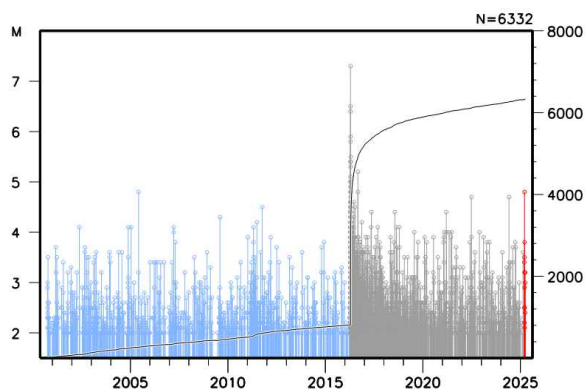


図 4 図 2 領域 b 内の地震活動経過図
及び回数積算図

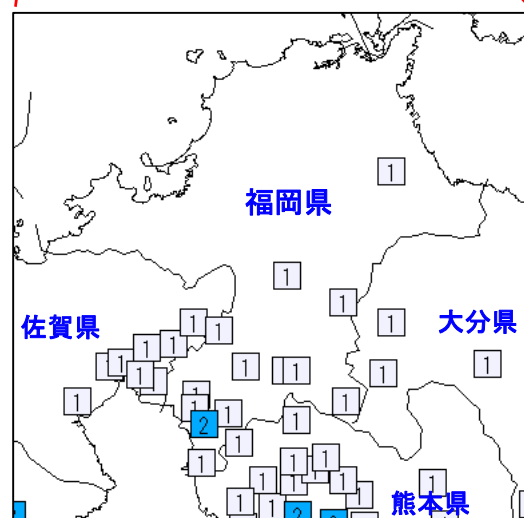
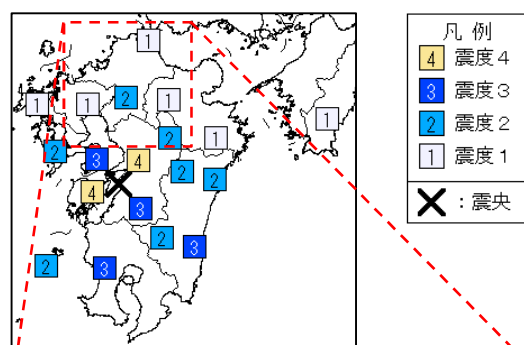


図 1 震度分布図
（上段：地域別、下段：観測点別）
18 日 05 時 00 分 M4.8

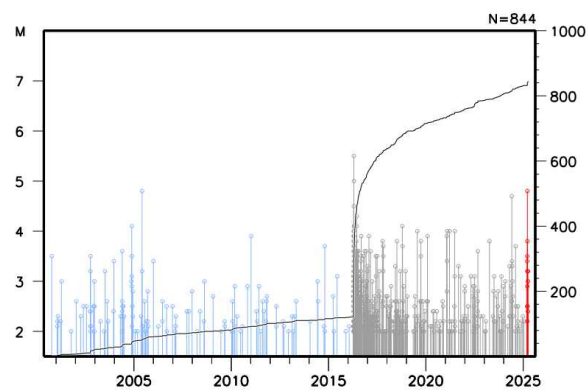
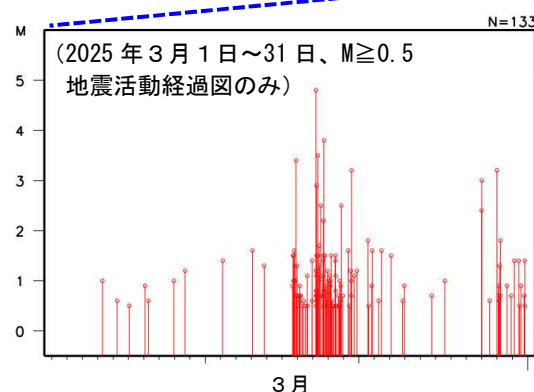


図 3 図 2 領域 a 内の地震活動経過図
及び回数積算図



有明海の地震

30日10時46分に発生したM3.4の地震（深さ11km）により、長崎県雲仙市で震度2を観測したほか、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県で震度1を観測しました。福岡県では大牟田市、みやま市で震度1を観測しました（図5）。

今回の震源付近（図6領域a）では、日頃から地震活動が見られる領域で、2022年8月22日に発生したM2.8の地震（深さ12km）により、福岡県の大牟田市、みやま市、熊本県の南関町、和水町で震度1を観測しました（図6、7）。

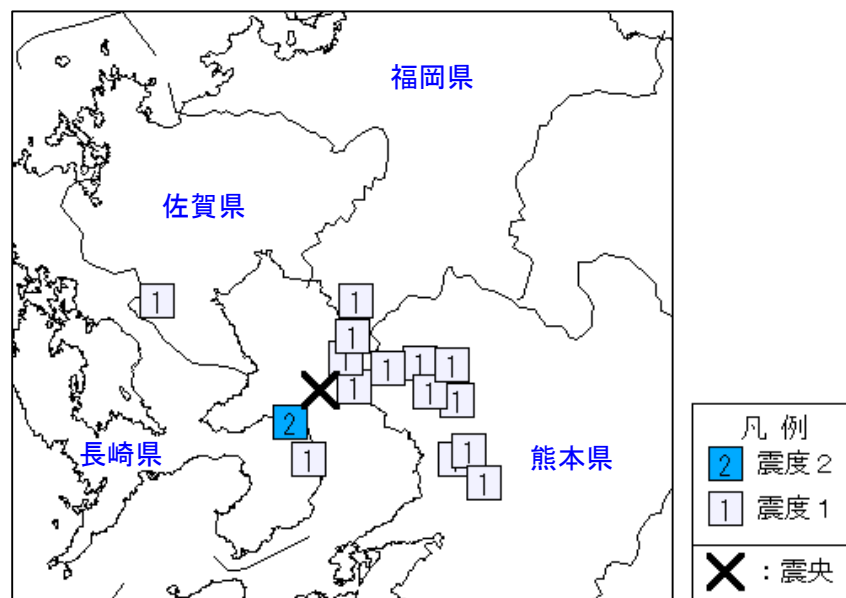


図5 震度分布図（観測点別）
30日10時46分 M3.4

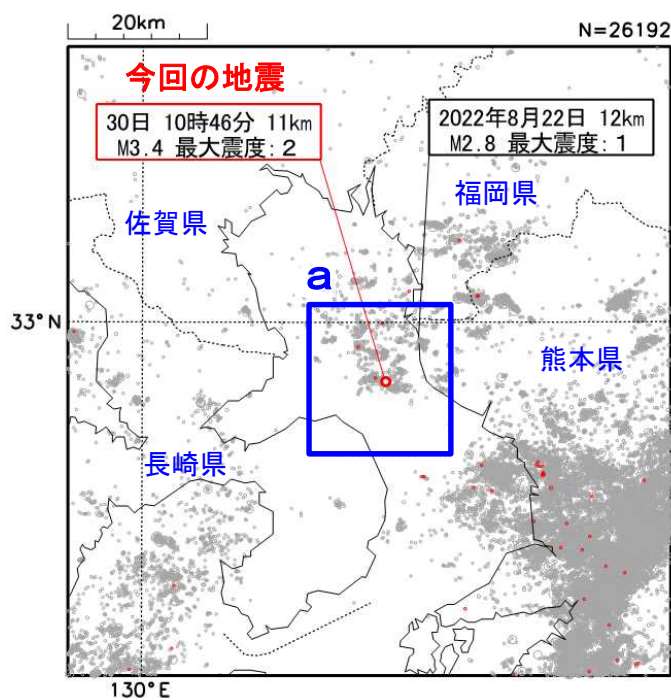


図6 震央分布図
(2000年10月1日～2025年3月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
※ 2025年3月の地震を赤色○で表示

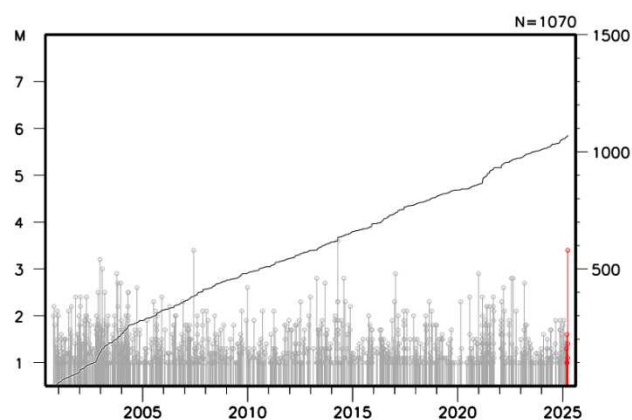


図7 図6領域a内の地震活動経過図
及び回数積算図

福岡県で震度 1 以上を観測した地震

2025年 3 月 1 日~2025年 3 月31日

地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
3 月18日05時00分	熊本県熊本地方	32° 29. 9′	130° 33. 3′	10km	M4. 8
	福岡県	震度 2	みやま市高田町＊		
		震度 1	みやこ町犀川本庄＊大牟田市昭和町＊		
			久留米市津福本町柳川市大和町＊		
			柳川市三橋町＊八女市黒木町北木屋		
			八女市吉田＊八女市黒木町今＊		
			八女市矢部村＊朝倉市堤＊朝倉市杷木池田＊		
			みやま市山川町＊		
3 月30日10時46分	有明海	32° 55. 4′	130° 22. 3′	11km	M3. 4
	福岡県	震度 1	大牟田市笹林大牟田市昭和町＊		
			みやま市高田町＊		

(注) 使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。
＊は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

気象庁が発表する地震・津波に関する情報

気象庁は、地震が発生しその地震による強い揺れや津波による災害の起こるおそれがある場合には、速やかに緊急地震速報、大津波警報、津波警報、津波注意報、津波情報、地震情報を発表します。これらは一般住民への避難行動、及び各機関の防災初動対応等に活用されます。今回は、これらの情報について解説します（情報の流れは図3を参照）。

1 緊急地震速報（警報）

地震の発生直後に各地の強い揺れの到達時刻及び震度や長周期地震動を予想し、可能な限り素早くお知らせする情報です。震度5弱以上または長周期地震動階級3以上を予想した場合に、震度4以上または長周期地震動階級3以上を予想した地域に緊急地震速報（警報）を発表します。緊急地震速報（警報）は、テレビ、ラジオ、携帯電話等をとおして伝達されます。

※ 緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、震源に近いところでは速報が間に合いません。また、ごく短時間のデータだけを使った速報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。

2 震度速報

震度3以上を観測した地震が発生したことを知らせる情報です。内容は震度3以上を観測した地域名と地震の揺れの検知時刻をお知らせします。

福岡県内は「福岡県福岡」、「福岡県北九州」、「福岡県筑豊」、「福岡県筑後」の4つの地域に区分して発表します（表1参照）。

表1 地震情報に用いる区域名称

区域名称	市町村名
福岡県福岡	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町
福岡県北九州	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
福岡県筑豊	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町
福岡県筑後	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、朝倉市、みやま市、筑前町、東峰村、大刀洗町、大木町、広川町

3 大津波警報・津波警報・津波注意報

地震が発生し津波による災害の起こるおそれがある場合には、地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分（一部の地震※については最速2分程度）を目標に、大津波警報、津波警報、津波注意報を津波予報区単位で発表します。

※ 日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

この時、予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表します。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震に対しては、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域における最大の津波想定等をもとに大津波警報、津波警報、津波注意報を発表します。その場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

このように予想される津波の高さを「巨大」などの言葉で発表した場合には、その後、地震の規模が精度よく求められた時点で大津波警報、津波警報を更新し、予想される津波の高さも数値で発表します（表2参照）。

津波予報区は全国を66の区域に分けたもので、福岡県の沿岸には「福岡県日本海沿岸」、「福岡県瀬戸内海沿岸」、「有明・八代海」の3つがあります（図1参照）。

表2 大津波警報・津波警報・津波注意報の分類ととるべき行動

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害ととるべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れて ください。



図1 福岡県沿岸の津波予報区

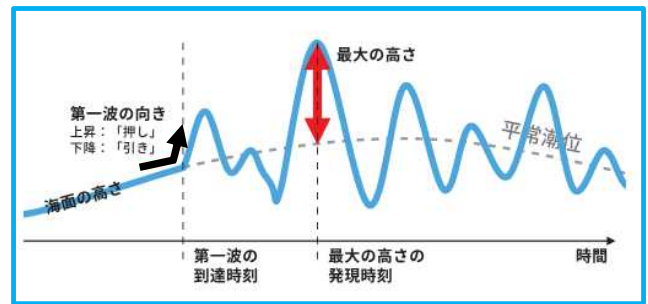


図2 津波の測り方

第1波の向きは、下方向が「引き」、上方向が「押し」となります(上図の例の場合は「押し」となります)。「津波の高さ」とは、津波がない場合の潮位(平常潮位)と、津波による潮位との差(図の赤線部分)のことです。

4 津波情報

大津波警報、津波警報、津波注意報を発表した場合に、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどを発表する情報です（表3参照）。

福岡県内では、「福岡市博多」、「北九州市門司」、「北九州港日明」、「北九州港青浜」、「苅田港」、「大牟田市三池」※の観測データ等を津波情報として発表します。

※「津波の高さ」とは、津波がなかった場合の潮位（平常潮位）から、津波によって海面が上昇したその高さの差を言います（図2参照）。

※「大牟田市三池」では津波観測に関する情報の発表はありません。

表3 津波情報

種類	内容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	各津波予報区の津波の到達予想時刻※や予想される津波の高さ(発表内容は津波警報・注意報の種類の表に記載)を発表します。 ※この情報で発表される到達予想時刻は、各津波予報区でもっとも早く津波が到達する時刻です。場所によっては、この時刻よりも1時間以上遅れて津波が襲ってくることもあります。
各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻・津波の到達予想時刻を発表します。
津波観測に関する情報（＊1）	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表します。
沖合の津波観測に関する情報（＊2）	沖合で観測した津波の時刻や高さ及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表します。

（＊1）津波観測に関する情報の発表内容について

沿岸で観測された津波の第1波の到達時刻と押し引き、その時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを発表します。

津波は繰り返し襲い、あとから来る波の方が高くなることがあるため、観測された津波が小さいからといって避難を止めてしまうと危険です。そのため、最大波の観測値については、大津波警報または津波警報が発表中の津波予報区において、観測された津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝えます。

沿岸で観測された津波の最大波の発表内容

警報・注意報の発表状況	観測された津波の高さ	内容
大津波警報を発表中	1m超	数値で発表
	1m以下	「観測中」と発表
津波警報を発表中	0.2m以上	数値で発表
	0.2m未満	「観測中」と発表
津波注意報を発表中	（すべての場合）	数値で発表（津波の高さがごく小さい場合は「微弱」と表現。）

(＊2) 沖合の津波観測に関する情報の発表内容について

沖合で観測された津波の第1波の観測時刻と押し引き、その時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを観測点ごとに発表します。また、これら沖合の観測値から推定される沿岸での推定値※(第1波の推定到達時刻、最大波の推定到達時刻と推定高さ)を津波予報区単位で発表します。最大波の観測値及び推定値については、沿岸での観測と同じように避難行動への影響を考慮し、一定の基準を満たすまでは数値を発表しません。大津波警報または津波警報が発表中の津波予報区において、沿岸で推定される津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」(沖合での観測値)または「推定中」(沿岸での推定値)の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝えます。

沖合で観測された津波の最大波(観測値及び沿岸での推定値※)の発表内容

警報・注意報の 発表状況	沿岸で推定される津波 の高さ	内容
大津波警報を発表中	3m超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	3m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波警報を発表中	1m超	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表
	1m以下	沖合での観測値を「観測中」、沿岸での推定値を「推定中」と発表
津波注意報を発表中	(すべての場合)	沖合での観測値、沿岸での推定値とも数値で発表

※沿岸からの距離が 100km を超えるような沖合の観測点では、津波予報区との対応付けが難しいため、観測値については「観測中」と発表し、沿岸での推定値は発表しません。

5 津波予報

地震発生後、津波による災害が起こるおそれがない場合には、以下の内容を津波予報で発表します(表4参照)。なお、津波が予想されないときは、津波の心配なしの旨を地震情報に含めて発表します。

表4 津波予報

発表される場合	内容
0.2m未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも 0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表します。
津波注意報解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っの作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表します。

6 震源に関する情報

地震により震度3以上を観測した場合で、津波による災害のおそれがないと予想されたときに発表する情報です。この情報では地震の検知時刻、発生場所(緯度・経度、深さ)、地震の規模(マグニチュード)、震央地名も併せて発表します。また、「津波の心配なし」または「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はな

い」旨を付加します。

7 震源・震度情報※

震度 1 以上を観測した場合、津波警報・津波注意報発表または若干の海面変動が予想される場合、あるいは緊急地震速報（警報）を発表した場合に発表する情報で、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度 1 以上を観測した地点と観測した震度を発表します。それに加えて、震度 3 以上を観測した地域名と市町村毎の観測した震度を発表します。また、震度 5 弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村・地点名を発表します。

※震源・震度情報は、「震源・震度に関する情報」（震度 3 以上の地域名と市町村毎の観測した震度等）と「各地の震度に関する情報」（震度 1 以上を観測した地点等）を指しています。

8 長周期地震動に関する観測情報

震度 1 以上を観測した地震のうち、長周期地震動階級 1 以上を観測した場合に発表します。地域ごとの震度の最大値・長周期地震動階級の最大値のほか、個別の観測点毎に、長周期地震動階級や長周期地震動の周期別階級等を発表します（表 5 参照）。

表 5 長周期地震動階級関連解説表（高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等）

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級 1 (やや大きな揺れ)	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級 2 (大きな揺れ)	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級 3 (非常に大きな揺れ)	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級 4 (極めて大きな揺れ)	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

9 推計震度分布図

震度 5 弱以上を観測した場合に、観測した各地の震度データをもとに、250m 四方ごとに推計した震度（震度 4 以上）を図情報として発表します。

10 遠地地震に関する情報

国外で発生した地震について、マグニチュード 7.0 以上または都市部など著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合に、地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね 30 分以内に発表※します。また、日本や国外への津波の影響に関しても記述して発表します。

国外で発生した大規模噴火を覚知した場合にも発表することがあります。

※国外で発生した大規模噴火を覚知した場合は、噴火発生から 1 時間半～2 時間程度で発表

11 南海トラフ地震に関連する情報

南海トラフ地震（駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源として概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生する大規模地震）が発生する可能性が高まった場合などに「南海トラフ地震に関連する情報」（表 6 参照）を発表します。なお、2024 年 8 月 8 日に日向灘で発生した地震（M7.1、最大震度 6 弱）により、2019 年 5 月 31 日に本情報の運用を開始して以降、はじめて南海トラフ地震臨時情報（8 日 17 時 00 分に「調査中」、8 日 19 時 15 分に「巨大地震注意」）を発表しました。さらに 2025 年 1 月 13 日に日向灘で発生した地震（M6.6、最大震度 5 弱）により、南海トラフ地震臨時情報（13 日 21 時 55 分に「調査中」、13 日 23 時 45 分に「調査終了」）を発表しました。

表 6 「南海トラフ地震に関連する情報」について

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	○南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ○観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 ○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） ※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります

1 2 その他の情報

地震が多発した場合などの際に震度 1 以上を観測した地震回数情報、顕著な地震の震源要素の切り替えのお知らせなどを発表します。

1 3（参考）北海道・三陸沖後発地震注意情報

日本海溝・千島海溝沿いの領域では、モーメントマグニチュード（Mw）7 クラスの地震が発生した後に、更に大きな Mw 8 クラス以上の大規模な地震が発生した事例が過去に 2 事例確認されています。

巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するため、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域及び想定震源域に影響を与える外側のエリアで、Mw 7 以上の地震が発生した場合には、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表するとともに内閣府・気象庁合同記者会見を開催し、大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっているとして、後発地震への注意を促します。

九州・山口県は本情報で防災対応を呼び掛ける対象地域ではありませんが、旅行等で対象地域を訪れる機会もありうることから、情報について理解を深めていただくため本情報について掲載しています。詳細は以下の気象庁ホームページをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nceq/info_guide.html

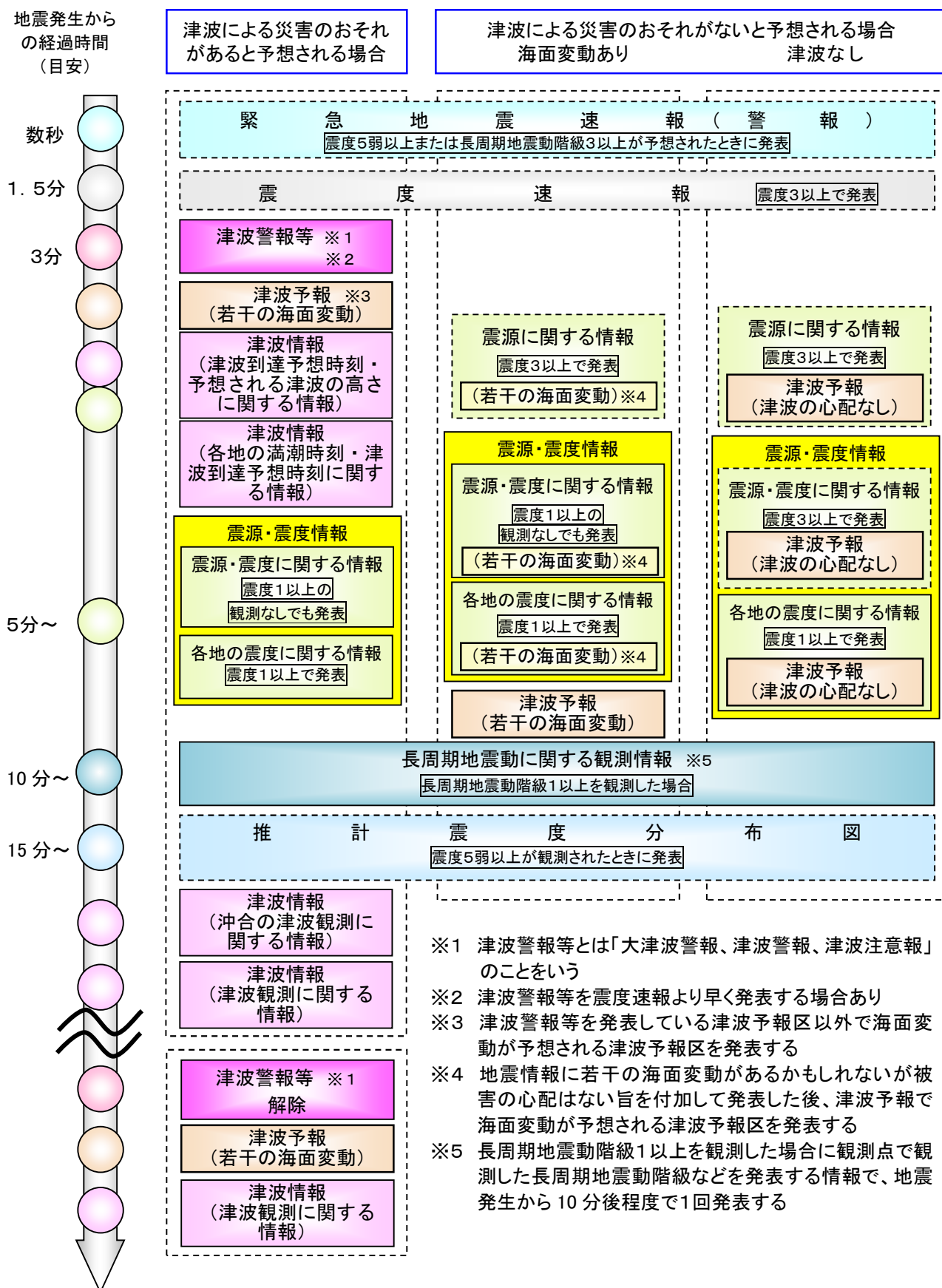


図3 地震・津波に関する情報の流れ